

Candida boidinii由来ギ酸デヒドロゲナーゼ（組換え体）

Cat. No. NATE-1061

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ギ酸脱水素酵素は、ギ酸を二酸化炭素へ酸化する反応を触媒し、その際に生じる電子を、ギ酸: NAD⁺オキシドレダクターゼ（EC 1.2.1.2）におけるNAD⁺などの第二基質、またはギ酸: フェリシトクロムb1オキシドレダクターゼ（EC 1.2.2.1）におけるシトクロムへ供与する一群の酵素である。

別名 EC 1.2.1.2; 9028-85-7; ギ酸-NAD酸化還元酵素; FDH; FDH I; FDH II; N-FDH; ギ酸水素リアーゼ; ギ酸水素リアーゼ; 水素リアーゼ; NAD結合型ギ酸デヒドロゲナーゼ; NAD依存性ギ酸デヒドロゲナーゼ; ギ酸デヒドロゲナーゼ (NAD); NAD-ギ酸デヒドロゲナーゼ; ギ酸ベンジルピオロゲン酸化還元酵素; ギ酸デヒドロゲナーゼ (ギ酸脱水素酵素)

製品情報

由来 カンジダ・ボイディニイ

形態 凍結乾燥粉末

EC番号 EC 1.2.1.2

CAS登録番号 9028-85-7

分子量 約41kDa

活性 固形物1 mg当たり0.4 U以上

単位定義 1ユニットは、pH 7.6、25°Cのリン酸カリウム緩衝液中において、NAD⁺存在下で1分間にギ酸1 μmolをNADHおよびCO₂に換えるのに必要な酵素量と定義する。

保管・発送情報

保存方法 4°C